

# 実地研修プログラム

## 大阪府地域生活定着支援センター（第2回）

### 研修のアピールポイント

#### センターの特徴

- センター発信で様々な「アクション」を起こすことで、地域や司法機関との具体的な「協働」に繋げる取組みを多数実施。多領域の関係者とネットワークを構築している
- センター職員一人ひとりの強みを生かすチームづくりを実践。情報共有や面談、研修方法等も工夫

#### 官民協働の実践

- 啓発活動、意見交換会、研修企画・運営などの「アクション」を起こし、被疑者等支援会議への参加や居住支援協議会との連携など、「協働」に繋がっている
- 入口支援では、毎月の被疑者等支援コア会議および隔月の全体会議を通して協力体制を構築

### 1日目

**I.官民協働：重層訪問巡回@高石市社協**  
重層担当者・府地域福祉課・保護観察所社会復帰対策官が集う意見交換会に同席。定着事業の啓発や市町村の課題キャッチ、今後の連携糸口を探る場面に立ち会う

**I.官民協働：ネットワーク構築の手法**  
地域の福祉事業所や市町村行政等とのネットワーク構築を目指す研修企画・運営を説明

### 2日目

**III.事務業務：朝礼参加** 日々の組織運営を見学

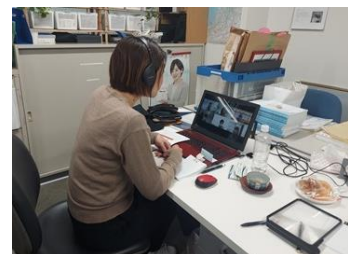
**I.官民協働：弁護士会との意見交換会**  
司法手続きの在り方や司法と福祉の連携スキーム等について、弁護士会と定期的に共有している場に同席

**I.官民協働：大阪における入口支援のスキーム作り**  
被疑者等支援業務のスキーム作りや現状課題について説明

**III.事務業務：職員の業務分担やSVの仕組み等、組織マネジメントについて説明**

**I.官民協働：なんでRing in泉南エリア研修打ち合わせ**  
「なんでRing研修」及び、市町村訪問から市町村単位の「なんでRing研修」に発展する手法を説明。また、研修を希望する市担当者との打ち合わせに同席し地域ニーズをヒアリング

**II.援助技術：フォローアップ業務の効率化について**  
「GOGO OT NET／作業療法士によるオンライン作業療法」の目的支援効果等をセンターとOT双方から説明。その後、実ケースを見学



### 3日目

**III.事務業務/プレスト：朝礼参加**  
受講者の課題をブレインストーミング

**I.官民協働：被疑者等支援コア・全体会議へ参加@大阪府社会福祉会館**  
コア会議の他、全体会議では矯正管区、拘置所、府治安対策課が加わって、解決案等について議論する場に同席

**I.官民協働：保護観察所の社会復帰対策官と保護観察官と共に、保護観察所との連携体制について意見交換**

**I.官民協働：司法機関に対する府社協からの相談対応@府社協・矯正管区**  
府社協から相談の「受刑者に対する福祉制度の告知方法」の話し合いに同席



実地研修 3日間振り返り

#### 受講者の声

重層的支援体制の整備に伴う各市町村への訪問や関係機関との密な連携は見習うところが大きく、中長期的な支援では欠かせない取組みと感じました。

市町村への理解、啓発方法や、組織運営について非常に学びが深まりました。得た知見を自身のセンターで実践したいと思います。